

U、YUANの兩名は各新聞宛に廣告料として二十元を封入してゐる（全文）

内閣情報部八・三二 情報第三號

重慶UP新聞電報放送（十七日）（朝鮮總督府通信局轉取）

一、支那側情報によると北平の新聞通信員ドイツ人二名とイタリヤ人一名が、日本側はソウエ
ート満洲國々境で大規模な攻勢を開始せんとしてゐるこの報を仄聞した東京事務所の指令
により満洲國へ向はんとしてゐるといはれる。

一、當地の支那紙は香港の支那新聞が程錫庚暗殺の下手人だと主張する二名の支那人より書面
を受取つたといふ香港報を掲載してゐる、（約三十語重複省辭）一方支那側は天津の容疑
者に對し人身保護法の適用を在支イギリス最高法院のジョンズ判事權が否決したことを
格別驚いてはゐないが、最終審問のため本件をロンドンの樞密法院へ提訴することを希望
してゐる、若し之が可能となればイギリスの引渡決定は延ばされ、當局としては日本側が
實際に支那人容疑者四名の身の上などには關心を持つてゐないことが納得ゆくであらうし
又本件の「再検証」が必要となる迄に期間を與へられるから「新たな證據」も発見出来る
かも知れぬと支那側は見えてゐる、一方支那政府が本件をヘーグの國際司法裁判所へ提訴す
ることを考慮してゐるといふことについては未だ官邊の確認を得られない。

259

朝鮮總督府通信局電報
 上海ロイテル新聞電報
 重慶報
 南支よりの支那側報道によれば汪精衛が廣東省の親日軍を「復興軍」と稱する二ヶ軍團に編成せんとしてゐる。之は現在の支日戦に内亂の形態をさらせるため支那人をして支那人と戦はしめんとする日本側の最初の試みである。

内閣情報部八・二二 情報第四號

上海ロイテル新聞電報（十七日）

（朝鮮總督府通信局電報）

重慶報

南支よりの支那側報道によれば汪精衛が廣東省の親日軍を「復興軍」と稱する二ヶ軍團に編成せんとしてゐる。之は現在の支日戦に内亂の形態をさらせるため支那人をして支那人と戦はしめんとする日本側の最初の試みである。